

学校だより

草花小「タートル」

令和 7 年 11 月 28 日
あきる野市立草花小学校
校長 永曾 久美子

1 2 月 号

未来に向かって更なる歩みを進める

～憧れの最高学年を追いかけて、皆が伸びる学校～

校長 永曾 久美子

空気が澄み渡り、子供たちが登校する前の学校は静寂に包まれています。校庭の木々の葉が陽を浴びて金色に映り、やがて冬景色と変わる日々が近いことを知らせています。子供たちは冬の到来など、ものともせず、休み時間には柔らかな日差しの中で走り回ったり、ボールで遊んだり、気候の変化にも負けず、元気いっばいに過ごしています。

今年も残すところ約 1 か月となりました。2 学期のまとめの時期に入り、慌ただしい日々が続きますが、皆で充実した日々を積み重ねて新しい年を迎えたいと考えています。

11 月 7 日（金）には開校 50 周年記念式典を行いました。あきる野市長、あきる野市議会議員、あきる野市教育委員会教育長をはじめとする多くの御来賓の皆様、地域の皆様、PTA 役員の皆様、旧教職員にご臨席を賜り、厳粛な中にも草花小学校を思う温かい空気が体育館にあふれる式典となりました。

在校生を代表して 6 年生が出席し、喜びの言葉と祝歌を披露しました。後日、本校の学校運営協議会の会議の場では、「6 年生の式に参加する態度が立派でした。」「6 年生の歌声がきれいで、『ふるさと』の曲を歌っているとき、涙が出そうになりました。」等のお褒めの言葉をいただくことができました。最高学年として、代表の名にふさわしい態度で式典に臨めた 6 年生を誇らしく感じました。

12 月 4 日（木）は秋川キララホールで市の音楽会が開催されます。草花小学校は毎回 6 年生が全校の代表として出演しています。会場の収容人数の都合上、保護者の入場はできませんが、6 年生の保護者の皆様には別日にお聴きいただくことができます。今年度の演奏曲は、合唱が「ふるさと」、合奏が「情熱大陸」です。休み時間には自主的に練習に取り組み、日に日に上達していく様子を頼もしく感じています。本番では午前の部のトップバッターとして、練習の成果を存分に発揮してくれることと期待しています。

今年度、6 年生は、4 月から最高学年として、一人一人の力を結集して集団としての力を高め、さまざまな行事において期待に応えてきました。卒業まで残り 4 か月を切った今、6 年生の成長ぶりに感動することばかりです。下級生は最高学年の姿を見続け、憧れ、「自分もあんなすてきな 6 年生になりたい」と思いながら成長します。下級生の憧れとなれる最高学年がいることで、全校の子供たちが育っていきます。これからも子供たちが自分自身を成長させたい、高めていきたいと思える学校であり続けたいものです。

新しい年を迎えてからも、広い大地にしっかりと根を張って、すくすく伸びる草花のように、子供たち皆が未来に向かって更なる歩みを進め、よりかしこく、やさしく、たくましく成長する学校であるようにと、教職員一同、たゆまぬ努力を続けて参ります。

保護者の皆様、地域の皆様には、今年も大変お世話になりました。皆様が良いお年をお迎えになりますよう、願っています。



12月の行事予定



日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	月	全校朝会 クラブ(3年見学)	12	金	がん教育(6年) 持久走週間終
2	火	校外学習(5年) 道徳授業地区公開講座・保護者会 (1・2年) 駅伝大会練習	13	土	ドッジボール練習(午前)
3	水	音楽朝会(6年発表) 校外学習(ふたば1・2・3年) SC	15	月	全校朝会 大掃除週間始 午前授業(6年1組は5時間授業)
4	木	市音楽会(6年) 道徳授業地区公開講座・保護者会 (3・4年) 駅伝大会練習	17	水	SC
5	金	おもいやりの日 道徳授業地区公開講座・保護者会 (5・6年・ふたば)	18	木	縦割り集会 校外学習(ふたば1・2・3年)
6	土	ドッジボール練習(午前)	19	金	大掃除週間終
8	月	安全指導 持久走週間始 委員会	20	土	青少健しめ縄づくり あきる野市教育フォーラム
9	火	駅伝大会練習	22	月	TGG体験(5年) 給食終(1～4年)
10	水	SC	23	火	生活指導朝会 午前授業・給食なし(1～4年)
11	木	児童集会 避難訓練 駅伝大会練習	24	水	午前授業・給食なし(1～4年) 給食終(5・6年)
			25	木	終業式

開校50周年記念事業



10月30日に50周年を祝う会、11月7日に開校50周年記念式典を行いました。50周年を祝う会では全校で草花小クイズやゲームなどを行って、みんなで開校50周年をお祝いしました。

開校50周年記念式典はあきる野市長をはじめ、多くのご来賓の方が参加されました。学校を代表して6年生が出席して喜びの言葉や祝歌を披露し、多くの方に褒めていただきました。